

## 日本空調冷凍研究所（JATL）試験設備見学会の開催

2017年8月25日に早稲田大学基幹理工学部で齋藤・山口研究室に所属する学生、教職員、研究員、留学生一行総勢30人が同研究所の試験設備見学を行いました。

一般財団法人日本空調冷凍研究所（略称 JATL）は、家庭用エアコン、業務用エアコン、ガスエンジンヒートポンプ、ならびに家庭用ヒートポンプ給湯機の性能試験・検定を行っており、性能測定用の「平衡式室形熱量測定装置」及び「空気エンタルピー測定装置」ならびに「家庭用ヒートポンプ給湯機試験設備」を合計4基有しています。また、空調機器の機器性能試験所として日本で初めて ISO/IEC 17025 の国際規格を取得していて、日本の空調機器の性能測定の原器となっています。

空調機器の性能を保証することは、消費者の製品に対する信頼性を確保するために重要な仕組みで業界が自主的に運用しているものです。

当日は、当法人岸本理事長の挨拶のあと、JATL の竹内専務理事から研究所の紹介及び試験設備の精度維持管理の説明、また上記の試験設備の設計・施工を手掛けた(株)大西熱学より試験設備の測定原理の説明が行われた後、3グループに分かれて4基の試験設備を見学しました。

齋藤・山口研究室では次世代ヒートポンプ技術の研究をプロジェクトの柱の一つとして掲げており、日々ヒートポンプ要素技術の研究を行っていますが、製品としてのエアコンなどの性能試験設備に触れる機会はなかなか無く、今回の試験設備見学は学生、教職員、研究員にとって貴重な機会であったと思います。

今回は東南アジアからの留学生も参加していて、日本性能測定・検定制度に大きな関心を寄せていました

なお、本見学会は、(株)大西熱学殿に協賛いただき実施したものです。





以上